

【4-8 定性的システマティックレビュー】

<b>CQ</b>	乳癌CQ6	BRCA病的バリエント保持者に対し、乳癌発症の予防にリスク低減卵管卵巣摘出術(RRSO)は推奨されるか？
<b>P</b>	BRCA病的バリエント保持者	
<b>I</b>	RRSO	
<b>C</b>	非RRSO	
<b>臨床的文脈</b>	HBOC診療のプロセスにおいて、予防に分類される。ただし、対象者には乳がん既発症者、未発症者が含まれる。	

<b>O1</b>	乳がん発症リスク
<b>非直接性のまとめ</b>	<p>&lt;未発症&gt;アウトカムへの影響は低い</p> <p>&lt;既発症&gt;アウトカムへの影響は低い</p> <p>&lt;分類不可&gt;アウトカムへの影響は低い</p>
<b>バイアスリスクのまとめ</b>	<p>&lt;未発症&gt;背景因子の差、ケアの差(対照群のスクリーニング方法)にバイアスがある。</p> <p>&lt;既発症&gt;背景因子の差、ケアの差(対照群のスクリーニング方法)にバイアスがある。</p> <p>&lt;分類不可&gt;背景因子の差、ケアの差(対照群のスクリーニング方法)にバイアスがある。</p>
<b>非一貫性その他のまとめ</b>	<p>&lt;未発症&gt;I2値が大きいため一貫性に問題がある</p> <p>&lt;既発症&gt;アウトカムへの影響は低い</p> <p>&lt;分類不可&gt;アウトカムへの影響は低い</p>
<b>コメント</b>	<p>&lt;未発症&gt;乳がん未発症者においてRRSOは乳がん発症リスクを低減する。BRCA1(HR=0.65 0.42-0.87)、BRCA2(HR=0.53 0.33-0.74)の間に有意差はなかった。</p> <p>&lt;既発症&gt;乳がん既発症者においてRRSOは乳がん発症リスク、再発リスクを低減する。BRCA1(HR=0.51 0.20-0.83)、BRCA2(HR=0.24 -0.05-0.52)で有意差はみられなかった。</p> <p>&lt;分類不可&gt;既発症未発症分類不能な場合もRRSOは乳がん発症リスクを低減する。BRCA1/2についてはstudyの数が少ないため、検討できなかった。</p>

<b>O2</b>	OS(当CQはall cause mortality、breast cancer specific mortalityについて検討した)
<b>非直接性のまとめ</b>	<p>&lt;all cause mortality(未発症)&gt;アウトカムへの影響は低い</p> <p>&lt;all cause mortality(既発症)&gt;アウトカムへの影響は低い</p> <p>&lt;分類不可&gt;アウトカムへの影響は低い</p>
<b>バイアスリスクのまとめ</b>	<p>&lt;all cause mortality(未発症)&gt;背景因子の差、ケアの差(対照群のスクリーニング方法)にバイアスがある。</p> <p>&lt;all cause mortality(既発症)&gt;背景因子の差、ケアの差(対照群のスクリーニング方法)にバイアスがある。</p> <p>&lt;BC-specific mortality(既発症)&gt;背景因子の差、ケアの差(対照群のスクリーニング方法)にバイアスがある。</p>
<b>非一貫性その他のまとめ</b>	<p>&lt;all cause mortality(未発症)&gt;アウトカムへの影響は低い</p> <p>&lt;all cause mortality(既発症)&gt;アウトカムへの影響は低い</p> <p>&lt;BC-specific mortality(既発症)&gt;アウトカムへの影響は低い</p>
<b>コメント</b>	<p>&lt;all cause mortality(未発症)&gt;乳がん未発症者において、RRSOはall cause mortalityを低下する。BRCA1でも低下をみとめ(HR=0.29 0.10-0.43)、BRCA2と有意差は認めなかった。</p> <p>&lt;all cause mortality(既発症)&gt;乳がん既発症者においてRRSOはall cause mortalityを低下する。BRCA1(HR=0.31 0.24-0.38)とBRCA2(HR=0.36 0.22-0.50)で有意差は認めなかった。</p> <p>&lt;BC-specific mortality(既発症)&gt;乳がん既発症者におけるRRSOはBC-specific mortalityを低下させる</p>

04	費用 ここでは、RRSOをした際の、乳がん発症(≡卵巣がんの発症を除く)に関わる費用について検討しているもの
非直接性のまとめ	海外における費用の算出結果であり、保険制度の異なる日本においては、アウトカムへの影響は中等度
バイアスリスクのまとめ	背景因子の差、不完全なフォローアップ、不十分な交絡の調整にバイアスがある。
非一貫性その他のまとめ	アウトカムへの影響は低い
コメント	RRMLなくてもRRSOはcost savingにつながる

05	患者の意向
非直接性のまとめ	
バイアスリスクのまとめ	
非一貫性その他のまとめ	
コメント	スクリーニング後該当論文なし

06	患者満足度
非直接性のまとめ	アウトカムへの影響は低い
バイアスリスクのまとめ	ケアの差(対照群のスクリーニング方法)、不十分な交絡の調整にバイアスがある。
非一貫性その他のまとめ	アウトカムへの影響は低い
コメント	RRSOが、実施後の乳がん発症への不安低減につながると結論されている。